

記録に挑戦！ 第4回寄居町こどもギネス大会

大会結果（＊印は新記録）（敬称略）

種目	記録	氏名	学校・学年
前とび	＊ 782回	石川 直人	桜沢小5年
前二重とび	144回	西川 茉佑	桜沢小6年
うしろとび	＊ 538回	西川 茉佑	桜沢小6年
こうさとび	＊ 504回	鴻野 蓮	折原小5年
前三重とび	25回	石川 海夕	用土小6年
集団なわとび	＊ 119回	鉢形小 6年1組	
大声競争	＊ 117.0db	戸澤 大悟	鉢形小6年
シャトル投げ	8.72m	木島今日子	桜沢小6年
豆うつし	＊ 28粒	石井 大貴	鉢形小6年

町では、2月26日に総合体育館・アタゴ記念館で、町内の小学4～6年生を対象に「第4回寄居町こどもギネス大会」を開催しました。

この大会は、町内の小学校で取り組んでいる運動種目や身の回りのものを使い、記録への挑戦という過程を通じて、楽しみながら体力の向上や仲間づくりなどにつなげることを目的として行われています。

当日は、約500人の子どもたちが参加。個人なわとび5種目、集団なわとび、大声競争、シャトル投げ、豆うつしの合計9種目に挑戦しました。

今大会では、6種目で記録が更新され「寄居町こどもギネス記録」として認定されました。

結果を集計している間には、青少年相談員協議会によるレクリエーションが行われ、他校の友達ともふれあい、楽しい時間を過ごしていました。



人権問題講演会が 開催されました

町では、あらゆる人権問題を解決するため、そして差別のない明るい社会をつくるため、毎年隣保館を会場に「人権問題講演会」を開催しています。

今回は、これまでの研修会で取り上げてほしいと要望の多かった障害者の人権をテーマとしました。特に障害者の就労に関して誤解を招くことも多く、障害を克服して頑張っていることを多くの方に理解していただきたいと考え、NPO法人埼玉LD親の会「麦」事務局の矢崎弘美先生を講師に招き、「障害者の人権」～気付かれにくい差別とその対応～と題してご講演をいただきました。

障害者の立場でないと気付きにくい差別や就労の現場での課題、活躍している障害者の例などわかりやすい説明で、「障害者に優しい社会は、誰もが暮らしやすい社会である」と結びました。

当日は、町議会議員や民生・児童委員などの公職者を始め168人の方々が参加し、熱心に傾聴し、理解を深めていました。

～参加者からの感想を紹介します。～

- ・今までわからなかった障害者のことが少しわかった。みんなで幸せを共有していきたい。（40代男性）
- ・差別・人権侵害は無知によって行われる事が良く理解出来ました。また研修会に参加したいと思いました。（50代女性）
- ・「気付かれにくい差別」とはこんなにあったのかと認識させられた感じがしました。無意識に傷つけていた事が（良かれと思って配慮したつもりが差別していることになったり）日常でも多く見受けられます。意識を喚起せねばと思いました。（60代女性）



未来へはばたけ！ 小・中学校で卒業式

3月16日に中学校で、24日に小学校で卒業式が行われました。これからみなさんは、新しいステージへ踏み出します。未来への希望を胸に、夢に向かってあきらめずに頑張ってください。



寄居町、交通死亡事故ゼロ 2年間達成！

2月4日、埼玉県から寄居町へ表彰状が贈呈されました。

これは寄居町で、平成20年7月27日以降、交通死亡事故の発生がなく、交通死亡事故ゼロを2年間達成したことによるもので、これまでの交通関係団体の取り組みや皆さんの交通安全に対する関心の高さが実を結び、達成できました。

今後も町民が一体となり、交通事故を防いで安心な暮らしができるよう、交通ルールを守り、交通マナーの向上に努め、交通安全を心がけていきましょう。



大盛況でした！ 生涯学習まつり

3月5日と6日に中央公民館で「寄居町生涯学習まつり」が開催されました。当日は105団体、約2,000人による作品の展示やステージでの発表が行われました。

来場者数は、2日間で延べ3,000人を超え、会場は大いににぎわいました。

